

兵庫県医師会ドクターバンクだより

今検討されている新研修制度の見直しについて思うこと

新緑が最も美しいこの時期は医師の就活も一段落し、過去2年の当バンクの実績をみても求職登録はしばらくの間少ないものと考えます。

さて、今年は、平成16年に新臨床研修医制度がスタートして6年目に入りました。当バンクとしては将来のバンク活動を見極めるためにも、新制度の第I期研修医が現在、大学や研修病院で専門医としてどの程度に育ち、本音として将来どのように活動の場を求めているのかを知りたいところです。この6月7日(日)の午後1時30分には、小野市うるおい交流館エクラホールで第6回県民フォーラム「公立病院はどうなる」が開催されますが、そこでもこの問題が取り上げられるものと思われまます。しかし、現在の医師不足問題の根は深く、医学部の学生数増や研修期間の短縮・研修義務科目の削減、大学病院での研修生受け入れ数増など「研修制度」をいじくりまわす「場当たりの変更」では混乱を長引かせるだけとも考えられます。そもそも新しい研修制度は、以前の新卒医師の7割が大学病院で臨床研修を受け研修内容が専門分野に偏りがちで「幅広く患者を診療できる医師」の養成システムになっていなかった反省から新設されたことを忘れてはなりません。

今回の医師不足で最も深刻な影響を被ったのが医療過疎的要素の大きい地域だったことで気づかされたことですが、地域で最も求められる医療を幅広くこなすことのできる「総合診療医」の育成を真剣に考える必要があるのではないのでしょうか。

兵庫県医師会ドクターバンク実績(累計)

求人施設数	求人数	求職者数	医業継承求人数	医業継承求職者数	マッチング [*] 件数	成立件数
244	576	88	20	9	390	39

(注)平成21年4月30日現在のデータを掲載。

<連絡先> TEL: 078-231-4114 (代表)

担当者: 後藤・都出

FAX: 078-265-2822 (専用)

e-mail: info@hyogo-doctorbank.com (専用)